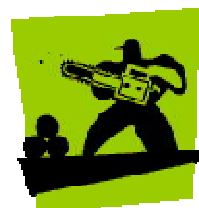


木の駅プロジェクト 伐木・搬出研修

日時:11月15日(日)9:00~12:00



場所:中野方ダム上流山林で:集合はダム入口看板(岩菱前)

内容:ヒノキ林の伐木・搬出・造材研修、チェーンソー

目立てなど

講師: 鈴木章(杣の森学舎)ほか

参加無料、初心者ベテランなどレベルに応じて講習。

主催: 特定非営利活動法人夕立山森林塾 & 杣組

協力: 中野方振興会、中野方財産区、中野方観光協会、

助成: 山村再生プラン助成金(林野庁) 間伐及び間伐材の利用促進事業(国土緑化推進機構)

問い合わせ先: 鈴木今衛(杣組)

電話0573-23-2411 090-3257-1541



中野 09/10/12 (岐阜県内)

(第3種郵便物認可)

中

見える分かる

岐阜県

環境保全や農家副収入に

間伐材集荷事業 試行へ

恵那、県内初

間伐材などの残材を集荷することで、山林の環境保全や林業農家の副収入などにつながる事業が、恵那市中野方町で始まる。市内の二団体が中心となり、残材を一ト当たり六千円で購入する方式。十一月の試行後に本格稼働へと移行する予定で、十日夜には住民を対象にした説明会が開かれた。

林業農家から一ト当たり三千円で購入。独自に三千円を上乗せし、林業農家の副収入にしよう。製紙会社などに三千円で転売し、上乗せ分は公的機関から助成を受ける。幹線道路沿いにある

「道の駅」にちなみ、「木の駅プロジェクト」として実施。林業農家へは、現金ではなく地域通貨「モリ券」を独自に発行する。中野方町内の商店で使ってもらうことで、地域振興にもつなげたい考えだ。残材集荷場は、笠置山中腹にあるグリーンピア恵那跡地を活用する。

・救援隊の中嶋健造事務局長も招かれ「土佐方式」を説明した。この事業の長所として、兼業の林業農家の副収入になる▽間伐材などの有効利用、山の手入れにつながる▽山林の生

事業を手がけるのは、特定非営利活動法人(NPO法人)夕立山森林塾(恵那市三郷町、佐藤大輔代表)と、中野方町の有志で、五月に発足した「杣組」(鈴木今衛代表)。

現在の計画では、高知県で活動するNPO法人をモデルに、チップ用などの「C材」を

説明会では、高知県ユニティセンターがあり、住民約五十人が出席。高知県のNPO法人「土佐の森

物多様性を維持するなど説明された。今後、残材の集荷を担う「登録林家」を募るなどし、十二月二週間、収集活動の試行を行う。説明会に続き、十一月には収集講習会も開かれた。中嶋事務局長によると、同様の計画は現在、高知県に続いて恵那市のほか鳥取県と山形県でも進められている。(保母哲)

